



事業紹介

大規模災害に備えて
確かな防災力を追求

防災



平成27年度入省 / 土木
浜松河川国道事務所
中ノ町出張所
係長

元永 淳子

私は現在、河川工事の工事監督として働いています。しかし、災害時には通常時と異なり、災害復旧のための業務を優先して行うことがあります。

「令和元年台風第19号」の際に、TEC-FORCE隊員として東北地方に派遣され、現地調査による被災状況のとりまとめ及び災害対策本部へ報告することを主に活動しました。被災箇所や規模をいち早く把握することが、迅速な復旧につながります。全国の職員が集まって協力し、一日でも早い復旧を目指しました。また、多くの人のために、非常に重要な仕事をしているということ、ニーズの大きな現場に行き改めて実感しました。

災害対応に限らず、私たちが行う事業は、国民のみなさんの安心・安全を守るためのものばかりです。ひとつひとつの仕事が目に見える形となっていく様を見てると、安全な地域づくりにつながったと思ひ、とてもやりがいを感じます。ぜひ中部の安心と安全のために、一緒に働きましょう！



災害対策本部

中部地方整備局管内をはじめ、全国各地で発生した災害情報をいち早く収集し、適切かつ早急に指示・情報発信を行います。災害対策本部室では、管内にある3,000台の他、全国各地に設置してある監視カメラ(CCTVカメラ)の映像などを見ることができます。



TEC-FORCE ~緊急災害対策派遣隊~

大規模な自然災害が発生した場合に、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧、災害応急対策に対する技術的支援を行います。隊員は、全国の国土交通省職員で構成され、中部地方整備局でも多くの職員が隊員に任命されており、様々な活躍をしています。



南海トラフ地震対策 中部圏戦略会議

南海トラフ巨大地震が発生した場合に、いかにして地域を守るか、被災地の一日も早い復旧をどう進めるか、中部地方整備局が中心となって、企画や運営を行っています。会議には、中部地域の国、地方公共団体、学識経験者、経済界などの135機関が連携し、一体的な防災対策の検討を進めています。



平成28年度入省 / 土木
災害対策マネジメント室

加藤 良太

防災グループでは、台風や地震、雪害などの災害から人命と財産を守るため、気象情報や被災状況等の情報収集、各行政機関との連絡調整等を行っています。

万が一の場合に被害を最小限に留めるために自治体への資機材の支援や被災状況の調査、ポンプ車による給水作業等のTEC-FORCE活動の調整を災害対策マネジメント室で行っています。そのため、夜間や休日など関係なく迅速な対応が求められます。

TEC-FORCE活動も含めると中部管内だけでなく日本全土の災害に注視する必要があります。より多くの国民のために仕事ができるのは、国土交通省ならではのやりがいだと思います。

災害対応は大変ですが、被災地の方々の生活を守るためには不可欠でとても重要な仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



防災ヘリコプター 「まんなか号」

発災直後に、迅速な情報収集を行うために、ヘリコプターを利用しています。高性能テレビカメラを搭載し、衛星回線を通して災害対策本部にリアルタイム映像を送信します。



浚渫兼油回収船 「清龍丸」

船舶からの大規模な油流出事故が発生した場合、事故海域へ急行し、油回収作業を行います。情報収集機能やヘリデッキ等も備え、多様な災害に対応した海上拠点として活躍します。



排水ポンプ車

発電機と排水ポンプ、ホースなどを搭載し、浸水被害現場へ出動し、排水作業を行います。現在配備しているポンプ車は1台で25mプールの水を約10分で排水する能力があります。



防災訓練

南海トラフ巨大地震などの広域かつ甚大な被害に備え、自衛隊、警察、消防などとも連携し様々な訓練を行っています。



防災意識の啓発

南海トラフ地震から地域社会と住民を守る事を目的として、産学官民が連携し、シンポジウムなどの啓発活動を行っています。